

④再処理施設（放射性気体廃棄物）

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設			クリプトン [ <sup>85</sup> Kr ] (Bq)	ヨウ素 [ <sup>129</sup> I ] (Bq)
	再処理施設合計		N.D.	N.D.
	年間放出 管理目標値		8.9E+16	1.7E+09
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)		放射性 アルゴン (Bq)	クリプトン [ <sup>85</sup> Kr ] (Bq)	ヨウ素 [ <sup>129</sup> I ] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	1.6E+11	N.D.
	年間放出 管理目標値	-	3.3E+17	1.1E+10

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設		全粒子状物質		
		[ 全α ] (Bq)		[ 全βγ ] (Bq)
	再処理施設合計	N.D.		*15 2.4E+04
	年間放出 管理目標値	*14 2.2E-08		*14 1.1E-04
日本原燃(株) 再処理事業所 (再処理施設)		その他核種 (α線を放出する核種) (Bq)	左記内訳(核種別) プルトニウム [ Pu(α) ] (Bq)	その他核種 (α線を放出しない核種) (Bq)
	再処理施設合計	N.D.	N.D.	N.D.
	年間放出 管理目標値	3.3E+08	-	9.4E+10

注：放射性気体廃棄物の放出放射能(Bq)は、排気中の放射性物質の濃度(Bq/cm<sup>3</sup>)に排気量を乗じて求めている。  
 なお、放出放射能濃度が検出限界濃度未満の場合はN.D.と表示した。  
 検出限界濃度は次のとおり。(Bq/cm<sup>3</sup>)

(独)日本原子力研究開発機構 再処理施設

<sup>14</sup>C : 4.0E-05 以下  
<sup>129</sup>I : 3.7E-08 以下  
 全粒子状物質(全α) : 1.5E-10 以下  
<sup>85</sup>Kr : 2.4E-03 以下  
<sup>131</sup>I : 3.7E-08 以下

日本原燃(株)再処理事業所(再処理施設)

放射性アルゴン : 1E-04 以下  
<sup>85</sup>Kr : 2E-02 以下  
<sup>129</sup>I : 4E-08 以下  
<sup>14</sup>C : 4E-05 以下  
 その他核種(α線を放出する核種) : 4E-10 以下  
 (全αに対する値で代表した。)  
 Pu(α) : 4E-10 以下  
 その他核種(α線を放出しない核種) : 4E-09 以下  
 (全β(γ)に対する値で代表した。)  
<sup>106</sup>Ru-<sup>106</sup>Rh : 4E-09 以下  
 (粒子状<sup>106</sup>Ru及び揮発性<sup>106</sup>Ruそれぞれに対する値を示した)  
<sup>137</sup>Cs-<sup>137m</sup>Ba : 4E-09 以下  
<sup>90</sup>Sr-<sup>90</sup>Y : 4E-10 以下

\*15：福島第一原子力発電所の事故の放射性物質放出の影響による。

④再処理施設（放射性気体廃棄物）（続き）

ヨウ素 [ $^{131}\text{I}$ ] (Bq)	トリチウム [ $^3\text{H}$ ] (Bq)	炭素 [ $^{14}\text{C}$ ] (Bq)
N. D.	5. 0E+11	N. D.
1. 6E+10	5. 6E+14	5. 1E+12
ヨウ素 [ $^{131}\text{I}$ ] (Bq)	トリチウム [ $^3\text{H}$ ] (Bq)	炭素 [ $^{14}\text{C}$ ] (Bq)
6. 6E+05	1. 6E+11	4. 2E+10
1. 7E+10	1. 9E+15	5. 2E+13

左記内訳（核種別）		
ストロンチウム -イットリウム [ $^{90}\text{Sr}$ - $^{90}\text{Y}$ ] (Bq)	ルテニウム -ロジウム [ $^{106}\text{Ru}$ - $^{106}\text{Rh}$ ] (Bq)	セシウム -バリウム [ $^{137}\text{Cs}$ - $^{137\text{m}}\text{Ba}$ ] (Bq)
N. D.	N. D.	N. D.
-		